

平成30年2月1日

報道機関 各位

卒業論文「公開審査会」を開催（富山大学経済学部）

富山大学経済学部内田ゼミナール(専攻：経営戦略論、指導教員：内田康郎教授)では、下記の日程で卒業論文審査会を一般に公開します。

当ゼミナールでは、毎年4年生の卒業論文に関しては、実際の企業の事例をもとに分析し、成功要因の解明や既存企業に対する戦略提言を盛り込むことを義務づけています。また、グローバル人材育成に対する社会的な要請を受け、英語での論文指導も実施しており、この審査会においても英語プレゼンを一部で導入することを予定しています。もちろん、当人たちが用意した原稿をただ読み上げれば済むような報告の場ではなく、英語と日本語のどちらであっても、きちんと聞き手に伝えられているかという点を重視し、正確な言語能力だけでなく非言語的なコミュニケーション能力も審査の対象としています。

当ゼミナールの4年生が当日に向け真剣に取り組んできた研究成果に対して、広く関心をもっていただくことを期待しています。

なお、当日はプレゼン内容について、来場者の方には一部審査に加わっていただくことも考えております。

については、事前・当日の取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

1. 日 時： 平成30年2月10日(土) 14:00~17:00 (13:30受付開始)
2. 場 所： ホテルグランテラス富山
4階「祥雲」の間
※参加費無料
3. 発表者： 富山大学経済学部内田ゼミナール所属の4年生 7人
4. 発表内容：
別紙参照

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学経済学部教授 内田 康郎 (内田研究室)
TEL&FAX 076-445-6464 (研究室直通)
Email uchida@eco.u-toyama.ac.jp



(別紙) 研究発表内容一覧 (順不同、当日の順番は未定)

■日本語セッション (14:00~15:30 予定)

- ・WEBサービスにおけるサブスクリプションモデルとビジネスモデルの有効性
—クックパッドの事例から—
- ・放送業界におけるプラットフォーム戦略を用いたプロセス・イノベーション
—プラットフォーム戦略の視点から—
- ・現代社会におけるSNSを用いた小売業のブランド戦略についての考察
- ・デジタルマーケティング時代における店舗選択行動要因についての考察
- ・メルカリユーザー増加の原因分析から見るC2Cプラットフォームにおける
新たな競争優位

■英語セッション (15:40~16:10 予定)

- ・A study of the different relevance between private brand strategy and consumer
consciousness in Japan and Thailand
- ・The effect of sharing economy business on the consumer value
— Significance of Caring Attitude —

以 上